

第九十回
帝國議會
貴族院

令(承諾ヲ求ムル件)
隱匿物資等緊急措置

特別委員會會議事速記録第三號

付託議案

○隱匿物資等緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)

昭和二十一年七月十五日(月曜)
日)午前十時三十一分開會

○委員長(子爵秋元春朝君) 是ヨリ開會致シマス、前回ニ引續キマシテ、御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、參考書類ノ配付ヲ受ケマシタカラ、之ニ付テ極ク概略ノ説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 只今御手許ヘ御配リ致シマシタ資料ニ付テ御説明申上ゲマス、最初「産業設備營團保有設備業種別一覽表」ト云フノゴザイマス、半枚ノ紙デゴザイマス、御承知ト存ジマスガ、産業設備營團ガ普通ノ會社ニ代リマシテ、生産ノ設備ヲ作ツテ、之ヲ管理スルト云フ形ヲ戰時中採ツテ居ツタノデゴザイマス、是ハ勿論戰爭ノ爲ニサウ云フ制度ヲ採ツタノデゴザイマシテ、平時ニ於キマシテハ、其ノ設備ハ勿論算盤ノ合ハナイヤウナ仕事ヲ主トシテ、斯ウ云フ設備營團ノ建設ニ委シタ譯デゴザイマス、此處ニアリマス各種ノ設備ハ、終戰ト同時ニ概ネ其ノ儘使ヒニタイ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、尙實際ノヤリ方ト致シマシテハ、

各企業ハソレノ設備ヲ作リマシテ完成致シマス、其ノ金額ヲ設備營團カラ支拂ツテ、設備營團ノモノニスル、其ノ後作リマシタ企業者ニ之ヲ貸與スルト云フ形ヲ取ツテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ最初ニアリマス第一欄、各業種別デゴザイマスガ、其ノ次ノ總件數、是ハ設備營團ガ各企業體ト契約ヲ致シマシタ件數デゴザイマシテ、各業種別ニ合計二百八件ノ契約ヲ致シマシテ、ソレノ企業ガ軍需生産ノ爲ニ、設備ヲ擴張スル、其ノ設備ヲ將來設備營團ガ買上ゲルト云フ契約ヲシタ總數デゴザイマス、其ノ次ノ欄ガ引取件數トゴザイマスガ、四十一件アリマス、四十一件ハサウ云フ設備ガモウ完成致シマシテ、設備營團ガ受取りマシテ、支拂ヒマシタモノノ總數デゴザイマス、件數カラ申シマス、マダ五分ノ一程度シカ完成シテ居ラナイノデゴザイマス、次ニ契約金額ト云フノガゴザイマス、二十七億六千八百萬圓程ニナツテ居リマス、是ハ二百八件ノ企業相手ニ當初契約致シマシタ金額デゴザイマス、其ノ次ノ欄ガ支拂済金額デゴザイマスガ、是ハ完成致シマシタモノハ勿論、マダ完成前ノモノデモ基金ト致シマシテ若干支拂ツテ居ルモノヲ指

シテ居リマス、從ツテ第三番目一欄ノ四十一件ト云フノハ勿論含ンデ居リマスガ、其ノ他ニ二百八件ノ中デ、未完成ノモノニ付テモ内金拂ヲ致シテ居ル譯デアリマス、最後ノ欄ノ支拂殘額ト云フノガ合計六億二千六百萬圓程デゴザイマス、是ハ其ノ後終戰ニ依リマシテ、設備ヲ作リマスコトヲ打切ツタノデゴザイマスガ、從ヒマシテ當初ノ契約金額程ハ金ハ要ラヌ、併シナガラ是ダケハ拂ツテヤラネバイカヌト云フノガ此ノ欄ニ掲ゲテアル數デアリマス、從ヒマシテ此ノ支拂殘額ト合シマシテモ、契約金額ニ達シテ居ラヌノガ普通デゴザイマス、但シ中ニハ設備ノ費用ガ餘計ニ豫算以上ニ掛リマシテ、契約金額ヨリモ超過致シテ居ルモノガゴザイマス、例ヘバ非鐵金屬工業アタリハ契約金額ハ九千八百萬圓デゴザイマスガ、支拂済額ハ七千七百萬圓、支拂殘額ハ三千五百萬圓、合計致シマシテ一億一千二百萬圓程ニナツテ居リマシテ、ソレダケ超過致シテ居リマスガ、實際ニソレダケノ費用ガ掛ツタト云フノデゴザイマス、尙是ハ中山サシノ御要求ニ實際合ツテ居ラヌノデゴザイマス、ト申シマスノハ、工場ノ中ノ機械設備ガ一々ドウ云フモノガアルカト云フ調査ガ只今

私ノ手許ニゴザイマセヌ、從ヒマシテ之ノ調査ヲヤリ出シテ居ルノデゴザイマスガ、相當廣イ範圍デゴザイマシテ、各工場ニドウ云フ設備ガ幾ラ有ルカト云フコトガ、只今私ノ手許ニゴザイマセヌノデ只今集計ヲ致シテ居リマスガ、若干ノ時日ヲ要シマスノデ、此ノ資料近間ニ合ツテ居ラヌノデゴザイマス、尙先程申シマスヤウニ、此ノ設備ハ終戰ニ依リマシテ要ラナクナツタ設備デゴザイマス、新ラシク他ニ辨用スルト云フ仕事ヲ見付ケル必要ガゴザイマシテ、概ネ動イテ居ラヌノデゴザイマスガ、此處ニゴザイマス二百八件ノ中、三十件程ハ外ヘ轉用スル見込ガ付イテ居ル、其ノ他ノモノニ付キマシテハ設備ノ完成ノ狀況其ノ他ヲ勘案致シマシテ、極力轉活用ノ途ヲ今講ジツ、アルノデゴザイマス、次ニ交易營團ノ關係資料ヲ御説明致シマス、最初ニ「終戰以後ニ放出致シマシタ交易營團ノ保有物資」、「昭和二十一年五月三十一日現在」トアリマス、終戰後交易營團ガ特ツテ居リマシタ色々ナ物資ガゴザイマスガ、ソレヲ五月三十一日迄ニ放出致シマシタモノノ種類別、金額別ノ表ガゴザイマス、一番澤山持ツテ居リマシタモノハ、此ノ表ニモゴザイマセヌ

ウニ纖維製品デゴザイマシテ、三億九千六百萬圓程ツテ居リマシタ、品物ハ此處ニアリマスヤウニ、綿絲布、人絹、絲布、絹織物毛絲、毛織物、其ノ他ノ纖維製品デゴザイマス、此ノ中生絲ガ約三千萬圓程デゴザイマシテ、是ハ輸出ノ方ヘ振り向ケテ居リマス、其ノ他ノモノハ織物統制會社ノ方ヘ大部分ノモノヲ讓渡致シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ農水產物ガ千五百五十三萬一千圓程デゴザイマシテ、生「ゴム」、紅茶、罐詰類デゴザイマス、次ハ化學製品ガ一千萬圓程デゴザイマス、此ノ主ナモノハ醫藥品、工業藥品、塗料、顏料等デゴザイマス、機械類ハ大變少ウゴザイマシテ、百五十八萬圓程度デアリマス、次ニ鑛產物關係七百九十五萬圓トアリマシテ、鐵鋼初メ工具、非鐵金屬類ヲ放出致シテ居リマス、雜貨類ハ一千萬圓程デゴザイマシテ、其ノ主ナルモノハ輕金屬製品、「ガラス」製品「ゴム」製品、陶磁器、其ノ他日用雜貨ト云フモノデゴザイマス、ソレカラ救急物資ト致シマシテ、戰災者用ノモノデゴザイマスガ、四百萬圓程デ、電球、亞鉛引鐵板、鐵管、其ノ他建築用資材、斯ウ云フモノヲ合計四億四千二百九十七萬三千圓ダケヲ放出致シテ居ルノ

デゴザイマス、次ニ五月三十一日現在デ交易營團ノ保有致シテ居リマスル物資表ヲ説明致シマス、交易營團ガ特ツテ居リマスモノハ、既ニ放出致シマシタモノハ別ト致シマシテ、主トシテ輸出ニ向ケ得ルモノデゴザイマス、又其ノ輸出ニ向ケマスモノノ原材料デゴザイマシテ、此處ニ掲ゲテ居リマスモノノ數字ノ大體ハ割程度ノモノハサウ云フモノデゴザイマス、殘リノ割程度ノモノガ國內用ニ向ケラレルモノデゴザイマス、纖維製品ガ一番、約九千萬圓デゴザイマス生絲ヲ始メ絹織物、綿絲布、人絹絲布等デゴザイマス、農水產物ハ三千三百萬圓デ、生「ゴム」、木材紅茶、綠茶、罐詰、樹脂類、其ノ他農水產物デゴザイマス、一番多イノガ化學品デアリマシテ、一億六千七百萬圓デゴザイマス、是モ輸出用ニ致スノガ多ウデゴザイマシテ、醫藥品等ガ特ニ多イノデゴザイマスガ、醫藥品、工業藥品、塗料、顏料、染料、香料、印刷「インキ」ヲ含ンデ居リマス、機械類ハ五千四百萬圓バカリデゴザイマシテ、自轉車部分品、自動車部分品、電線、紡織機械及同部分品、諸機械及同部分品、其ノ他隱匿藏及特務買上物資、是ハ戰時中ニ致シマシタ隱匿藏關係ノ特別買上ノ物資デゴザイマス、今回隱匿物資ノ買上ハ含ンデ居リマセヌ、斯ウ云フモノデ、是ハ主トシテ重要物

資管理營團ヲ公益營團ガ昭和十八年六月ニ合併致シマシテ、サウ云フ種類ノモノヲ持ツテ居リマス、次ニ罐產物及同製品、是モ同意味ノ重要物資管理營團ノ流れヲ汲ンデ居ルモノデアリマシテ、二千六百萬圓、鉄鐵、普通鋼、第二次製品、特殊鋼、工具類、非鐵金屬類ヲ含ンデ居リマス、次ニ雜貨類デアリマシテ、約二億六千三百萬圓デアリマシテ、此ノ内、白金、「ダイヤモンド」ト云フノガ此ノ金額ノ大部分ヲ占メテ居リマシテ、大體一億九千萬圓程ハ其ノ金額デゴザイマス、以下陶磁器、洋食器等ノ所謂雜貨類ヲ含ンデ居リマス合計シテ六億三千五百萬圓デゴザイマス、尙此ノ價格ハ備考ニモアリマスヤウニ、買入レマシタ時ノ價格ニ諸掛リヲ含ンダモノデアリマス、其ノ後値上リヲ致シテ居ル譯デスガ、其處ニ掲ゲテ金額ハ、買上當時ノ價格ト其ノ後ノ諸費用ヲ含ンデ居リマス、商工省關係ノ物資ト致シマシテ、大體御説明申上ゲタ譯デアリマス

○中山太一君 ソレデハ御手数數デ恐縮デアリマスガ、國民更生金庫ノ同様買入レラレタモノノ種類ノ大別ト金額、終戦後ノ現在及ビ終戦後放出サレタモノ、又同ジク五月三十一日現在デ宜シウデゴザイマスカラ、現存シテ居ル有リ高ヲ併セテ資料トシテ頂戴致シタイと思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 承知致シマシタ

○中山太一君 只今産業設備營團ノ保有設備ニ付テ資料並ニ御説明ヲ戴キマシタガ、ソレハ施設ノ方ヲ引受ケラレタモノニ對シテノ主トシテ御説明ノヤウニ拜聽致シマシタガ、色々ノ企業整備等ニ依ツテ買上ゲラレタ、其ノ方ノ關係ハ御説明ガナカッタガ、此ノ表ノ中ニ包含サレテ居ラズノデゴザイマセウカ、ドウデゴザイマセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 包含サレテ居リマセヌ、企業整備ノ關係ノモノハ此處ニ包含サレテ居リマセヌ、國民更生金庫ト別ニ是ハ調査シタイト考ヘテ居リマス

○中山太一君 ソレデハ國民更生金庫ノ企業整備ニ依リ引取ラレタ所ノ表ト同様、産業設備營團デ同様表示サレタモノヲ、資料トシテ一ツ御提出願ヒタイト存ジマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 承知致シマシタ

○中山太一君 色々後デ整ウタ資料ヲ得マシテ、改メテ御質問申上

ゲタイト存ジマスケレドモ、本表ニ依ツテ伺フコトノ出來ル範圍ニ於テ御尋ネシテ見タイと思ヒマスガ、宜シウデゴザイマス

○委員長(子爵秋元春朝君) ドウゾ願ヒマス

○中山太一君 「産業設備營團保有設備種類一覽」ノ此ノ資料ニ依リマシテ、只今御説明ヲ戴キマシタ其ノ件數ガ二百八件デ、完成シテ營團ニ引取ラレタモノガ四十一件、又契約金額ガ二十七億六千八百四十萬一千餘圓ニナツテ居リマスガ、實際支拂ハレタ額トシテハ十六億八十五萬六千餘圓ニナツテ居リマス、此ノ金額ハ戰時ノ國民ノ事業經營關係ノ資金トシテハ相當大キナモノデアリマスガ、之ガ有效ニ活用サレル積リデアツタト思ヒマスガ、終戦後事志ト相違ウタコトデアアルノデ、當局モ不意ナ點ガアツタカト存ジマスガ、私ハ其ノ經緯ヨリモ、終戦後之ガ活用サレタモノ、サレムトスルモノガ、所謂轉用見込ノモノガ僅カ三十件ダケノヤウニ御説明アリマシタガ、其ノ三十件ヲ支拂濟ノ金額ニ依ツテ之ヲ御説明ヲ願ヒタイドレ位ノ金額ニ該當スルカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 三十三件ノ金額ハマダハツキリ致シテ居リマセヌ、數字ト致シマシテハ私ノ方ノ手許ニゴザイマセヌ、設備營團ノ整理ニ依ツテ買上ゲマシタモノヲアトデ資料トシテ差上ゲタ

イト思ヒマス

○中山太一君 此ノ龐大ナ支拂ガ行ハレ、又是ハ民間ノ事業資金ニ依ツテ放出サレタモノノナク、政府ノ機關ニ依ツテ行ハレタ、此ノ産業設備營團ノ保有設備、機械、其ノ他ノ内容ノ調査ガ、又資料ガ當局ノ御手許ニナイト云フコトデアリマス、是ハ色々ノ事情デ已ムヲ得ナイカモ知レマセヌガ、終戦後「マツクアーサー」司令部カラ一般產業界ニ調査ヲ命ゼラレタコトダケデモ三回五回デハナイノデアリマス、極メテ詳細ニ有ラユル機械、其ノ他ノコト迄、又資料ノコト迄モ、其ノ都度提出シテ居ル管デアリマス、一般ノ民間ノ事業者モサウデアリマスカラ、商工省ガ非常ニ國家ニ對シテモ大キナ責任ヲ持タレル此ノ監督管理ノ事業ノ内容ニ付テ、餘リニ、正確ナ表ガ御手元ニナイト云フコトハ、今日ノ産業行政上ニ於ケル大キナ缺點デアリ、茲ニ大キナ矛盾ガ起ツテ來タト思ヒマス、又是ハ内容ニハ私人ヲ積リデアリマスガ、商工大臣ガ關西ニ御旅行ニナツタ時ニ商工大臣、司法大臣、厚生大臣、國務大臣ノ前デ、實ニ我々側ニ居ツテモ聞クニ堪ヘナイ程ノ、所謂極端ニ進言ガ行ハレマシタ、ソレハ産業設備營團デハアリマセヌ、交易營團ニ對スル好マシクナイ種種ナル事項ヲ擧ゲテ居リマス、私大臣ガ實際能ク辛抱シテ御聽ニナ

ツテ居ルト思ツタ位デアリマス、ケレドモ是ハ必ズシモ火ノナイ所ニ煙ハ立タナイト云フヤウナコトデアルカモ知ラヌト思ヒマスガ、此ノ點等カラ考ヘマス、監督ノ上ニ大キナ缺陷ガアルヤウニ思ハレマス、民間ノ隱退藏物資ニ對シテ、政府ハ何カ惡人ガ物ヲ持ツテ居ルヤウナ感ジデ見ラレマスガ、現ニ政府ガ政府ノ權限内デ立派ニ是ハ管理出來ルモノデ、サウシテ必要ナ場合ニ之ヲ有效ニ國家ノ爲ニ又產業界ニ活用出來ルモノガ、斯クノ如ク放漫ナ狀態デアルト云フコトハ、私ハ行政官廳トシテ大キナ改善ヲセラレネバナラヌ點ガアリハセヌカト存ジマスガ、之ニ對シテ大臣始メ御當局ハ如何御考ヘデゴザイマセウカ

○國務大臣(星島二郎君) 今、政府委員カラ申シマシタコトハ、設備營團トシテマダ出來テ居ナイト云フノデ、御希望ノモノハ個々ノ工場別トシテハアルサウデアリマスカラ、何レ取揃ヘマシテ御報告スル時機ガアラウト思ヒマスシ、尙產業設備營團ト言ヒ交易營團ト言ヒマシテ、此ノ時局ニ生レタモノト致シマシテ、最モ公明正大ニ總テノコトノ運營ヲ圖リタイト思ヒマスノデ、殊ニ產業設備營團ニ付キマシテハ、目下、之ヲ戰時型カラ離シテ平和型ニ、詰リ再建營團ト云ヒマスガ、再建ノ方ヘ積極的ニ用ヒタイ爲ニ、目下研究致シ

テ居リマス、只今仰セノヤウナ資料等十分ニ整ヘマシテ、何レ又御答辯ヲ致スベキ時機ガアルト思ヒマスノデ、左様御了承願ヒマス尙交易營團ノ方ハ今回解散ヲ命ジマシテ、是ハ貿易廳ノ下ニ整理ヲ致シテ新ラシク發足致スコトニナツテ居リマスカラ左様御承知願ヒマス

○中山太一君 產業設備營團ノ現有施設及ビ資材等ハ、當局ノモノダケデ一般產業關係ノモノハドウ云フモノガアルカ承知シテ居ラヌノデアリマスガ、之ヲ公開サレマシテ、サウシテ又商工省ガ主體トナラレテ、各府縣ノ產業關係ノ者又官廳關係ノ者ヲ委員等ニ御入レニナツテ、之ヲ活用スルト云フコト等ニ付テモ御檢討願ツテ、資材ガ不足デアル、民間ノ隱退藏物資迄モ探シ出シテ活用シナケレバナラヌト云フ時ニ、大キナ政府ノ機關ニ於テ斯クノ如キモノガ死藏選藏サレテ居ル時デアリマスカラ、一日モ早ク有効ニ轉活用サレルヤウナコトヲ御講ジニナルコトガ、寧ロ民間ノモノヨリモ先デナケレバナラヌコトデヤナイカト思ヒマス、此ノ寶ノ持チ腐レノ狀態デアルコトハ、今ノ生産隘路トナツテ居ル資材設備等ノ不十分ナル點、又ハ或設備ヲ或方面ニ轉換スルコトハ樂デアルカモ知レマセヌガ、サウデナイ民間ノモノヲヤレバ非常ニ犧牲ガ多イト云フヤウナコト

ガアリマスカラ、サウ云フ點モ、一般ガ承知スレバ、之ヲ色々ト轉活用ノ工夫モシ包容モ出來ルト思ヒマス、モウ少シ率直ニ、大膽ニ官民一體トナツテ、民ノモノモ宜シイ、官ノモノモ宜シイ、資材ヲ有ルダケ活用シテ、產業ノ再建復興、新日本ノ建設ヲ實ヲ舉ゲルト云フヤウナ意味ノ御考ヲ願フ譯ニハ行カナイモノデゴザイマセウカ之ニ對シマシテ、大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(星島二郎君) 先程モ申上ゲマシタヤウニ、產業設備營團ハ、戰時中ノ法律ノ中ニソレハ合マツテ居リマス、之ヲ戰時ト云フ言葉ヲ取ツテ、復興再建ノ爲ニ之ヲ敏活ニ利用スルト云フコトヲ今研究ヲ致シテ居リマシテ、或ハ此ノ會期中ニ間ニ合ヘバ、皆様ノ御協賛ヲ求メタイト考ヘテ今研究ヲ致シテ居リマスガ、御話ノヤウカ趣旨デゴザイマス、殊ニ現在デモ肥料ノ爲ニ營團ヲ利用致シマシテ、工場ヲ轉換致ス爲ニ、或ハ肥料ノ工場ノ復舊ノ爲ニ、產業設備營團ガ既ニ之ニ參加致シテ居ルヤウナコトモヤツテ居リマスノデ、之ヲモツト積極的ニヤリタイト云フヤウナ考ヲ以チマシテ考察ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、何レ又、サウ云フ時ニハ、或ハ御話ノヤウニ、學識經驗アル方等ノ御意見モ十分聽キマシテ、一ツ案ヲ練ツテ見タイ、斯様ニ思ツテ居

ルヤウナ譯デアリマス

○中山太一君 ソレデハ產業設備營團ノ方ハ、次ノ資料ガ出マシテカラ、又御尋ネ申上ゲルコトニ致シマシテ、交易營團ノ方ニ付キマシテ御質問申上ゲタイト思ヒマス交易營團ノ終戦後ニ放出サレマシタモノガ此處ニ列記シテアリマシガ、是ハ各品別ニ一體ドウ云フ方面ニドウ云フ條件デ行ツタノデアリマセウカ、是ガ承リタウゴザイマス、是ハ大臣カラ御説明願フノハ御迷惑デアリマスカラ、御關係ノ方カラ、モウ少シ詳細ニ承リタイト思ヒマス、ソレガ一ツ、ソレカラ終戦後ニハ交易營團トシテ放出スベキ條件ハナイ筈デアル、全面的ニ交易ハ停マツテ居ル筈デアル、ソレニモ拘ラズ、斯ウ云フモノガ放出サレテ居ルトスレバ、相當ナ理由、條件ガナケレバナラヌ又其ノ方面ニ對シテモ色々各方面ノ業者ガアリマセウカラ、業者ノ團體トカ全業者ガ恩惠ヲ受ケタカ或ハ一部ノ特殊ナ人ガ、其ノ拂下ヲ受ケタト云フコトデアレバ、其ノコトニ對シテハ、餘程ノ理由ガナケレバナラヌ、輸出隱匿物資ハ私ハ終戦後ニハ行ハレテ居ヌスト承知致シテ居リマスガ、一部ノモノハ見返リ物資トシテボツ／＼出マス、マダソナニ出ルヤウナ何ハ、其ノ意味デ行ハレテ居ラヌヤウニ思ヒマスケレドモ、ドウモ此ノ點ガ了解出來ナイ、ソレデ此ノ

點ガ明カニナラヌト、交易營團ニ對スル世評、色々ノ好マシクナイ世評ヲ打消スコトガ出來ナイコトニナリ、延イテハ色々ノ實例ヲ舉ゲラレヤウナコトニナリハセヌカト思ヒマスカラ、此ノ點モ一ツ出來得ルダケ詳シク、深切ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 交易營團ノ放出物資ノ一番多イモノハ纖維製品デゴザイマス、三億九千六百萬圓程デゴザイマシテ、其ノ中約三千萬圓程生糸ヲ輸出ニ廻シテ居リマス外ハ、國內向ケニ出シテ居ルノデアリマス、國內ニ廻シマシタモノノ中ニハ、織物統制會社ニ約三億六千萬圓程各種ノ織物ヲ出シテ居リマス、是ハ勿論國內ノ纖維製品ノ不足ヲ充足スル爲ニ出シテ居ルノデゴザイマシテ、例ヘバ農地開發營團トカ、其ノ外農村關係、戰災者用、其ノ他ヲ含メマシテ織物統制會社ニ一應渡シマシテ、其處カラ配給シテ居ル譯デアリマス、其ノ外輸出用ト致シマシタモノハ極ク僅カデゴザイマシテ生「ゴム」等ハ輸出ニ廻シテ居リマスガ、此處ニアリマスモノ大部分ハ、國內ニ使ヒマス用途ニ充テマス爲ニ流シテ居ルノデアリマスソレ／＼ノ統制團體ニ大部分ノモノヲ流シテ居リマス、ソレカラ特殊ノ大キナ工場其ノ他ニ付キマシテハ、直接資材ヲ流シタモノモゴザイマスガ、大部分ノモノハ統制

團體ニ流シテ居ルノデゴザイマス
尙此ノ團體ニ、ドノ位ノ數字カト
云フコトハ、只今數字ガゴザイマ
セヌノデ、何レ取調ベマシテ申上
ガマス

○中山太一君 今ノ御放出ニナリ
マシタモノノ大部分ガ統制團體其
ノ他ニト云フコトデアリマス、大
變結構デアリマス、又改メテ其ノ
内容ヲ御報告願フト云フコトヲ承
リマシテ、ソレヲ拜見シテ、更ニ
其ノコトニ付テ申上ゲタイト思ヒ
マス、色々ノ民間ニ於テ噂ノアル
ノハ、或一個人、又、一會社ニ對
シテ多額ノモノ、或ハ金額ト云ヒ
マスカ、量ニ於テ保有量ノ大部分
ヲサウ云フ所ニ偏頗ニ配給シテア
ル、ソレデ營團關係ノ個人的ナ關
係ニ依ツテ行ハレルノデヤナイカ
ト云フ色々ノ點デアリマスカラ、
今ノヤウニ團體ニ依ツテ行ハレタ
ト云フコトニナルト、サウ云フ噂
ハ無クナリ、非常ニ結構デアリマ
スノデ、此ノ點モ差支ヘナイ限リ
一ツ詳細ニ御示シ戴キタイト思ヒ
マス、纖維品ノ大部分ハモウ無イ
ヤウデアリマスカラ、其ノ他ノ農
水産物、化學品、機械類、或ハ雜
貨類、救急物資又ハ礦物及ビ同製
品ト云フヤウナ意味ノモノニ對シ
テ、特ニサウ云フ御願ヲ致シタイ
ト思ヒマス、ソレカラ先程ノ御説
明ノ中ニ、此ノ現存シテ居ルモノ
ノ八割ハ輸出向ケ、二割ガ内地向
ケト云フヤウナ御方針ヲ御示シ

ナリマシタガ、輸出ガ今直ガ利ク
モノモアリマスガ、將來輸出ガ出
來ルダラウト云フノデ以テ、輸出
ノ爲ニ此ノ物資ノ足ラヌ時ニ、民
生物資トシテ生産シナケレバナラ
ヌ、又産業生産ノ上ニ隘路トナツ
テ居ル不足資材ヲ充足シナケレバ
ナラヌト云フ時ニ、マダ目途モナ
イ、見込ミガハツキ立タヌノニ
後日ノ輸出ノ爲ニト云フノデ、退
藏シテ置クト云フコトハ果シテ宜
イカドウカ、而モハ割ガ輸出向ケ
ト云フノモ、是ハ或意味ニ於テ、
今迄ノ交易營團ノ値定メノ、自分
ハ交易ニ於テノミ其ノ使命ヲ果ス
ト云フ意味カラ勝手ニ私ハソコニ
見當ラ著ケラレタノデヤナイカ、
當局ノ御英斷ニ依ツテ民需物資ト
シテ必要ナ場合ニ纖維品ヲ國內ニ
振り向ケラレル、斯ウ云フヤウナ
コトガ、實際産業情勢カラ必要デ
アル、私ハ此ノ御取計ヲヒテ非常
ニ結構ナ措置ダト思ヒマスガ、此
ノ原材料ニ於テモ、矢張りサウ云
フ風ナ轉活用ノ上ニ、立派ナ御考
慮ヲ願フト云フコト、ソレカラ國
内ノ生産ヲ復興スルコトガ後日輸
出物資ヲ多量ニ優良ナモノヲ造ル
爲ニ便宜ヲ受ケルト云フ因果關係
ヲ持ツコトデアリマスカラ、此ノ
點ニハ餘リ捉ハレズニ、殘ツタモ
ノガ輸出向ケガ八割、内地向ケガ
二割ト云フヤウナコトデナシニ、
逆ニナツテモ宜イノデヤナイカト
思ハレマスガ、之ニ對シテ御當局

ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ
○政府委員(吉田悌二郎君) 國內
向ケノモノガ二割ト申シマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、重
要物資管理營團ノ仕事ヲ交易營團
デ引受ケマシタ關係デ、其ノ仕事
ノ中ニ持ツテ居ルノデアリマス、
尙原材料デ輸出用ニ使ハレマスモ
ノハ、現在相當ゴザイマシテ、是
ハドンノ國內ニ流シマシテ輸出
品ヲ造ルト云フコトニ重點ヲ置イ
テ參ルノデゴザイマス、此處ニ書
イテゴザイマス數字ノ中デモ、國
内ニ流シマシテ輸出用ノ完成品ヲ
造リマシテ、又輸出業者ノ手ヲ通
リマシテ、貿易ヲ通ジテ輸出サレ
ルト云フコトニナルト思ヒマス、
大部分ノモノハサウ云フ加工ヲ要
スルモノガアルノデアリマス

○中山太一君 本委員ノ御尋ネシ
希望致シマシタノハ、只今ノ御説
明トモウ一ツ違ツテ居リマス、是
ガ輸出ニ必要ナ時ニ之ヲ放出サレ
ルト云フノデナシニ、内地ノ物資
ガ缺乏シテ、生産ヲ一層増強シナ
ケレバ生活ニモ、又物價ノ問題ニ
モ、有ラユル方面ニ惡影響ヲ及ボ
シテ居ルノデアリマシテ、之ヲ應
急處置トシテ活用サレルトモ必
要デヤナイカ、輸出ニ絕對ニ今見
込ナル物トカ、必要ガアル物ハ
別デスガ、後日輸出ヲスルカト
云フノデ、必ズシモ不足ナ物資ヲ
退藏ノ狀態ニ置クト云フコトハ私
ハ不合理デヤナイカト云フ意味デ

御當局ノツレニ對スル御意見ヲ御
尋ネシタノデアリマス
○政府委員(吉田悌二郎君) 此處
ニ書イテゴザイマスモノノ中、例
ヘバ雜貨類ノ白金、「ダイヤモン
ド」等二億圓近クゴザイマス、斯
ウ云フモノモ食糧輸入ノ爲ノ見返
リト致シマシテ、進駐軍ノ指示ト
申シマスカ、動カスコトノ出來ナ
イモノ、又生糸ナリ生「ゴム」ナ
リ醫藥品ト云ツタヤウナモノモ、
大體向フノ指示ノアルモノデゴザ
イマシテ、國內ニ流シ様ノナイモ
ノガ大部分デアリマス、是ハ五月
三十一日現在ノ數字デアリマスガ
其ノ後相當輸出シタモノモアルト
考ヘマスガ、此處ハ大體完成品デ
ゴザイマスガ、之ヲ國內ニ流スコ
トハ困難カト思ヒマス、從ヒマシ
テ原材料ハ國內ニ流シマシテ早ク
完成品ヲ造リ出ス、サウ云フ風ニ
申上ゲタ次第デゴザイマス

○中山太一君 白金、「ダイヤモン
ド」等ノ如キモノハ、或ハ化學工
業、機械工業ノ一部ニ重要ナモノ
デアリマセウケレドモ、全般ニハ
關係ノナイモノデゴザイマス、本
委員ノ御尋ネ致シマスノハ、ソレ
等ニ重點ヲ置イテ申上ゲル積リデ
ハナカツタノデゴザイマス、其ノ
他ノモノデアリマス、殊ニ雜貨ノ
中デモ一部分「セルロイド」製品
ナリ「ゴム」製品ニ付テハ考慮ス
ベキモノガアルト思ヒマス、僅カ
十五錢カ二十錢デ十分アツタモノ
ガ、今デハ四圓五圓ト、サウ云フ
コトニナツテ居ル、内地ノ物價ハ
非常ニ「セルロイド」製品等モ高
價ニナツテ居ルノデアリマス、斯
ウ云フモノガ後日ニ輸出サレルト
云フノデ、唯倉庫ニ堆カク積上ゲ
ラレテ居ルヨリモ、民生物資トシ
テ活用サレル方ガ宜イノデハナイ
カト云フノデアリマス、其ノ他ノ
原材料ノ方面ニ於テ、國內ノ製
品ノ上ニ缺クベカラザルモノ、又
國內ノ製品ヲ造ルニ非常ニ不自由
シテ居ルモノガ、後日輸出スル爲
ト云フノデ、之ヲ保有サレテ居ル
モノモ、此ノ表ヲ見マシテモ相當
アルヤウデアリマス、甚ダシイノ
ハ輸出スルカラト云フ名義ノ下ニ
輸出ハ今利カナイニ拘ラズ、サウ
云フ美名ノ下ニ、其ノ原料ノ拂下
ヲ受ケテ、之ヲ占有シテ居ルヤウ
ナ惡傾向ガアリマス、是ハモウ少
シ突込ンデ行キマス、其ノ何迄
舉ツテ來ルダラウ、是ハ許スベカ
ラザルコトデアリマス、本員ハ此
ノ點ハ必ズ不當ニ拂下ゲテ居ルノ
ハ、是ハ引上ゲテ、更ニ先程言ハ
レタ統制會、業者ノ團體ニ之ヲ交
付サルベキモノダト、斯ウ考ヘマ
ス、サウシテ民需物資トシテ不自
由シテ居ルモノニヤル、又後日輸
出スルナラバ、輸出トシテモソレ
ヲ活用スル、斯ウ云フモノヲ一業
者ニ依ツテ不當ニ惡用サレテ居ル
ノデハナイカト云フヤウナコトガ
私共ノ知ツテ居ル範圍デモアリマ

ス、況や世間ノ噂ト云フモノハ非常ナモノナ、能ク大臣ハ辛抱シテ御聽キニナツテ居ルと思フ程、實ニ禮ヲ失スル迄ノ陳述ヲシテ平氣デ居ル者ガアルノデアリマス、此ノ問題ハ他所行キノ答辯デナシニモウ少シ、行カヌコトハ仕方ガナイガ、個人ガ一人デヤツテハイケナイカラ、矢張り一應皆返ス、幸ニ解散ニナリマシタカラ、終戦後ノサウ云フモノハ返ス、ソレデ業者ニ公平ニヤツテ、業者カラ半分ハ貿易ノ輸出スル關係トシ、後半分ハ民需物資ニスルト云フ、何カ斯ウ適當ナコトヲ、何モ過去ノコトヲ缺點ヲ擧ゲテドウト云フノデナクテ、餘リ無理ナコトヲシマスト今度ハ妙ナコトガ起ル處ガアリマス、サウ云フコトニ熱シタモノハドウ云フコトヲスルカト云フト、當局ニ訴ヘテ容レラレナイト云フト、又色々司法機關ヤ何カニ投書スル、ソレガイカヌト云フ時ニハ、今度ハ聯合軍側ノ方ニ投書スル、是ハ隨分酷イコトヲヤツテ居ル人ガ居リマス、問題ハ益ミイカヌ、ソレデサウ云フ個人ノ妙ナ行キ過ギガアツタナラバ、當局ノ方針デ全部御破算シテ、モウ一遍取り返ス、サウシテ之ヲ公平ニ業者ノ爲、國家ノ爲ニ活用スルヤウニシテ、産業再建ニ資スル、是ガ平和日本ノ建設ノ産業行政御當局ノ良イヤリ方デハナイカト思ヒマスガ、ソレニ付テノ、是ハ大臣

ノ御氣持モ承リタイシ、又御責任當局ノ御氣持モ、理窟拔キニシテ一ツ御私願ヘマスレバ結構ト存ジマス

○國務大臣(星島二郎君) 先程交易營團ノ方ニ付キマシテハ、今回解散ヲ命ジマシテ、サウシテ清算ハ一應致シマシテ、唯進駐軍用ノ色々建物等ノ爲ニ要シマスル特需物資ニ限ツテ特殊ナ機關ヲ殘シマシテ、後ハ一切貿易ノ下ニ直接ナ仕事ヲスルヤウナコトニナルカト思ヒマス、或ハ多量ナ物資デアリマスルカラ、御批評ヲ受ケルヤウナ非難ノ點ガ絕對ナイコトハナイトハ、私モ今カラ考ヘラレマスケレドモ、中ニハ岡目八目デ、多少無理ナ批評モアラウカト思ヒマスガ、ソレ等ニ付キマシテ、其中デ目ニ餘ルヤウナコトガアリマスレバ、其ノ後ニ至リマシテモ十分調査ヲ致シマシテ、適正ナル處置ヲ執ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、大體ノ所ハ、交易營團ノ方ハ一應此處デ清算ヲ致スコトニナリマス、今後ハ貿易ノ下ニ、ソレノ民間ノ諸團體ヲ活用シテ貿易ノ振興ヲ圖ラウト、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、マア過去ノコトハ一ツ、成ルベク非常ナコトノナイ限りハ、色々ナ非常ナ不正ガアリマシタラ、是ハ當然摘發シナケレバナラヌガ、私ト致シマシテハ今後貿易ノ下ニ、公平ナ一ツ民間ノ創意アル敏活ナル仕事ヲ以

テ、振興ヲ圖リタイト思ヒマス、尙政府委員ヨリモ補ウテ申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 此處ニ交易營團ガ持ツテ居リマス物資ノ中、國內デ使ヘル物ヲ國內ノ業者ガ貰フ場合ハ仰セノ通り各産業團體ガゴザイマスカラ、其ノ産業團體ヲ通ジテ渡スガ宜カラウト思ヒマス、仰セノ通り、サウ云フ産業團體ガ最モ公正ニ仕事ヲヤルヤウニ指導ヲ致シマシテ、ソレニ渡スヤウニ致シタイト考ヘマス

○中山太一君 大臣ノ御説明、或點ヲ承致シマシタガ、御當局カラハ此ノ點ニ觸レテ御説明ガナイヤウデアリマスガ、今後ノコトニ付テハ、只今ノ御説明デ能ク了承致シマシタ、私ハ終戦後ニ於テノ不當放ガアツタ場合、先程ノヤウナコトハ、綿糸ヤ何カノ纖維品等ノヤウナ、御説明デ能ク分ルコトハ非常ニ結構ト思ヒマスガ、何モ妙ナ意味ハ持タナイ、而モ統制團體バカリデナシニ、多勢ノ中ニハ一部ノ個人的ナ闇行爲ヤ何カニ依ツテ思ハズ正シクナイコトガ行ハレテ居ルコトハナイダラウケレドモ、不正ナ處理ガサレテ居ラヌトモ限ラヌ、私ノ色々ナ知ツテ居ル範圍ニモソレガアリマスガ、個個ヲ追及スル必要ハナイガ、サウ云フコトガアレバ、大臣ノ言ハレタヤウニ、矢張り終戦後ハ一應取戻シテ、サウシテ今ノ商工省ノオ

ヤリニナル御方針ニ依ツテ一般ニ分ケラレルト云フコトガ非常ニ宜イデハナイカト思フ、其ノ點ヲ御當局ガオヤリニナル御積リデアルカドウカト云フ其ノ點ヲ承レバ結構デアルト思ヒマス

○國務大臣(星島二郎君) 實ハ私衆議院ノ本會議デモ、チヨツトサウ云フコトニ關聯シテ申上ゲタノデアリマスガ、必ズシモ交易營團ニ關聯シタコトデハアリマセヌケレドモ、全體ト致シマシテ、終戦直後甚ダ恥カシナガラアノドサクサニ乘ジテ、占領軍ガ來タナラバ何モ彼モ取ツテシマウダラウ、先ヅ來ナイ前ニト云フヤウナコトデ軍等ニ於キマシテ拂下等デ、兎ニ角減茶々ナ方法デ分ケタコトハ事實デアリマス、其ノ後進駐軍ノ態度ハ誠ニ私感心シタヤウナ譯デゴザイマス、全部之ヲ民需ニ廻スト云フヤウナコトニナツテ居ルノヲ見マシテ、私共直接進駐軍ニ行キマシテモ、寧ロ恥シカツタト云フコトヲ率直ニ實ハ告白シタヤウナ譯デアリマス、デアリマスカラ其ノ當時若シ不當ノ、サウ惡イ意味デ個人々々ノ性格デナク、唯早ク方々ハ散ラシテ置ケト云フヤウナコトガ假ニアツタト致シマスレバ、ソレハ今日所謂隱匿物資ト致シマシテ、今回此ノ法律ノ適用ニ依ツテ出シタノデアリマス、ソレヲマア、罰スルトカ罰シナイト云フコトデヤナシニ、出セバ、大體

ノ相場デダスネ、一ツ、之ヲ買上ゲルト云フノデ、極メテ穩健ナ態度デ目的ヲ達成シヨウト云フヤウナコトデヤツテ居リマスカラ、若シ仰セノヤウナモノガ、其ノ當時極端ニ不當ナ個人ニ拂下ゲ等ガアリマスレバ、今度ノ隱匿物資ノ措置法ニ依ツテ届出ヲ願ツテ、ソレヲ此ノ措置ニ依ツテ出シテ戴クト云フコトガ、マア狙ヒデアラウトス様ニ考ヘテ居リマス、現ニ或他ノ物資ニ付キマシテハ、サウ云フ處置モ行ハレテ居リマスノデ、或ハ亦交易營團等ニ付キマシテモ、當時ソレニ似タヤウナコトガ或ハアツタカモ知レマセヌ、ソレハ在野時代外ノ件ニ付キマシテ、アツタコトヲ承知致シテ居リマスカラサウ云フモノヲ一ツ此ノ措置ニ依リマシテ、圓滿ニ出シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フヤウナ方針デ參ツテ居ル譯デアリマシテ、御尋ノ趣旨モサウ云フ邊ニアリハセヌカト思ヒマス、私、本會議デ告白ト云ヒマスカ、率直ニ當時ノ感想ヲ述ベマシタノヲ想ヒ出シマシテ、御答辯ニ代ヘマス

○中山太一君 商工大臣ノ善後措置ニ付テ御話ニナリマシタ御氣持能ク了承致シマシタ、木員モ穩健ナ、誰モ傷ヲツケズ圓滿ニ解決シテ、サウシテ各關係業者ガ健全ニ發展出來ルヤウニト云フコトヲ希望致シマス今ノヤウナ方法ニ御取計ヒテ願フコトガ非常ニ結構ダト

思ヒマス、ソレカラ今ノ終戦當時ノドサタサノモノデアルト、如何ニシテモマダ、何デアリマスガサウデナク相當經ツテ、何箇月カ經ツテ、意識的ニヤラレテ、個人ニサウ云フコトヲサレテ居ルヤウナ點モナイトモ限リマセヌガ、是ハ私ハ隱匿物資トカ何トカ云フヨリ關係者ヲ呼ンデ、取引ヲ解消シテ斯ウ云フ風ニスル方宜イト云フコトヲ、矢張り御當局カラ注意ナリ御説明ニナツテ、ソレヲ處理サレルコトガ一番宜イ、何モ其ノ人ノ缺點ナリ、其ノ交易營團ノ當局ヲ何モ追及シヨウト云フコトデハナク、分ツタモノハドシ、一ツ軌道ニ乗セテ、犠牲者モ出ス必要ハナイ、元ニ直レバソレデ宜イ、今大臣ノ終戦後ノ隱匿物資ニ對シテノ措置ハ、非常ニ結構デアリマス、ソレト同ジ氣持ヲ以テ御處理戴ケバ結構デス、中ニハ其ノ物方例ヘバ二十萬圓デ拂下ゲタガ、實際ハ六十萬圓ノ値打ガアル現在ハ八十萬圓ノ値打ガアルトシマス、其ノ點ノ國家ノ損失モ少クナイ、色々ナ點ガアリマス、是ハ私ハ色々ノ資料ヲ知ラヌデモアリマセヌガ、斯ウ云フモノハマア原因サヘ分カレバ、ソレデ一ツモ問題トスベキコトデアリマセヌノデ、大臣ノ今ノ御氣持ヲ今ノヤウナ後起ツタモノニ對シテモ御取計ラヒ願フト云フヤウニ、本員ハ承知シテ宜シウゴザイマスカ、

關係御當局ニ之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 大臣ノ御話ノ通りデアリマス、私共、ソレニ副フヤウ仕事ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス

○中山太一君 サウシ致マス、矢張り民間ノモノモ政府當局ノ公平ナ態度ニ絶對信頼シテ、サウシテ協力スルト云フ意味デ、サウ云フ不合理ナモノハ是ハイケマセヌカラト云フノデ資料ヲ提供サス、又スルト云フコトニ依ツテ、圓滿ニ解決スルト云フコトガ適當ダト思ヒマスカラ、此ノ交易營團ノコトニ對シテ、今アリマス資料ニ對スル私ノ質問ハ、是デ一應打切りマス

○伯爵柳澤保承君 チョット私他ノ委員會ニ參ツテ居リマシタノデ或ハドナタカ御話ガ出タカモ知レマセヌガ、此ノ第一條ノ第五ノ所ニ、「入手経路」ト云フコトガアリマスガ、ソレハ一體ドウ云フ経路ガ多ウゴザイマスカ、大體分リマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 此ノ申告ノ内容ノ一々ハマダ統計ガ出テ居リマセヌガ、其ノ理由ニ付キマシテハ、併シ大部分ノモノハ、此ノ調査報告ガアリマシタノハ、正當ナル「ルート」デ手ニ入レタモノガ多イノデゴザイマス、此ノ買上ガ見込數量トシテ御手許ニ差上ゲマシタ資料ノモノハ、正當ナ

割當ヲ受ケタモノモ是ハ入ツテ居リマスガ、特殊ナル「ルート」カラ入ツタモノモゴザイマス、理由ト致シマシテハ正當ナ割當ヲ受ケテ貰ツタモノガ人手ノ大部分デアリマス、其ノ他閣「ルート」デ流レタモノハ表面キハ澤山書イテナイヤウデアリマス

○伯爵柳澤保承君 實際ハ澤山アル譯デアリマセウネ、マサカ閣カラ入ツタト云フコトハ書ケマセヌカラネムツカシイ譯デス

○子爵稻垣長賢君 政府ノ御話デハ、此ノ措置令ハ今後モ存続スルヤウナコトニ伺ヒマシタガ、是迄ノ隱匿物資ト云フヤウナモノハ、サウキカラノ御話ノヤウニ終戦當時軍等ノ物資ガ不當ニ退蔵サレタト云フモノニ對スル發効デアツテ是ハマア一應ノ措置トシテハ宜イノデアリマスガ、今後之ヲ持續スルト言ハレルノハ、是等ノ物資ガマダ相當アルト云フコトデアリマセウカ、ソレトモ今後モ亦斯ウ云フヤウナコトガ行ハレルト云フヤウナ見通シガアツテノコトデアリマスルカ、若シソレガアルトスレバ、大體ドウ云フモノガアルカト云フコトヲ一應伺ヒタイト思ヒマス、マア大體私考ヘマスルニ、今後ハ食糧ノ問題デヤナカラウ、食糧品ト云ツタヤウナモノデヤナカラウカド思フノデアリマスガ、是ハ食糧緊急措置令デ十分取締ルコトガ出来マスルシ、又農家は於

テ必要物資ガ十分圓滑ニ配給セラレナイト云フト、物交米ト云フノハ當然起ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ物交米ニ對シテハ政府ハドウ云フ風ニ御考ヘカ此ノ二點伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 此ノ臨時措置令ノ施行ノ期間ノ問題デアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ措置令ハ二月ニ始メマシテ以來、一連ノ作業ヲ致シテ居ルコトデアリマス、其ノ始末ガ大體八月ノ末位ニ一應片ガ附クモノト考ヘテ居リマス、讓渡命令モ全部出シマシテ、配給ノ措置モ一應其ノ頃ヲ以テ終ルモノト考ヘテ居リマス從ヒマシテ此ノ措置令隱匿ノ大體ノ使命ハソレデ終ルト考ヘテ居リマス、唯若干、其ノ後彼處ハ出サナカツタト云フヤウナ話デモアレバ工合ガ惡イト云フ考ヘデ若干様子ヲ見ヨウトハ思ツテ居リマスガ、其ノ後餘リ使フコトハナカラウト考ヘテ居リマス、食糧ノ方ノコトハ農林省ノ方ガ居ラレマセヌカラ分リマセヌ

○子爵稻垣長賢君 特ニ商工省ニ伺ヒタイノハ、大體物交ノ主ナル對象ガ商工關係ノモノデアルカラソレニ對スルコトヲ商工省ノ方ノ御考ヲ伺ヒタイ、非常ニ米ノ配給ガ足りナイノデ、米ト物交サレテ居リマスガ、商工省ガモウ少シサウ云フ方ニ努力サレテ物ヲ造ツテヤラレルト、自然供出米モ順調ニ

出テ來ル、大キク言ヘバ米ヲ退蔵シナクテモ濟ムト云フヤウナコトモ考ヘラレマスノデ、其ノ邊ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 農村ノ食糧供出ヲ促進スル爲ニ、所謂見返リ物資ヲ農村ニ流ス必要ノアルコトハ同感デアリマス、此ノ措置令ノ主目的モ、一ツハソレニ當ツテ居ルト考ヘテ居リマス、從ツテ此處ヘ出タ纖維製品等ハ寧ロ地方長官ニ縣内ノ食糧問題ノ爲ニ使ツテ宜イト云フコトヲ言ツテ居リマス、尙先程ノ交易營團等ノ持ツテ居ツタ物資、纖維製品等ハ食糧見返リ物資トシテ流サレテ居ルノデアリマス、農村ノ食糧ヲ圓滑ニ出ス爲ニ出來ル限り商工省ハ見返リ物資ヲ造ツテヤラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、從ツテ今ノ狀況カラ、取敢ヘズ有ル物ヲ出スト云フ意味デ、此ノ措置令デ取ツタ物ト、其ノ他從來正式ニ持ツテ居ツタ物ヲ、農村ニ重點的ニ配給シテ居ル、今後モ其ノ方針デ行キタイト考ヘテ居リマス

○子爵柳澤光治君 先程交易營團ノ持ツテ居ル生「ゴム」ヲ輸出ニ當テタト云フ御話ガアリマシタガ十日程前ノ「ラジオ」ノ放送ト思ヒマシタガ、生「ゴム」ヲ米國ヘ送ル爲ニ調査ノ必要ガアルノデ使用ヲ禁ジテ、日限ヲ切ツテ御調査ニナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、大體此ノ隱匿物資ノ御調査

デ民間ノ保有量ハ分ツテ居ルノデ
ヤナイカト思ヒマス、ソレヲ特ニ
此ノ際御調ノ御必要ガアルノハド
ウ云フノカ御伺ヒシタイノデアリ
マス

○政府委員(松田太郎君) 生「ゴム」

ノ關係ニ付キマシテ、實ハ終戦當
時ハ約三萬二千「トン」程在庫ガ
ゴザイマシタ、ソレヲ逐次終戦後
ニ於キマシテモ「ゴム」工業ハ向
フデハ平和産業ト云フ見地カラ、
所謂自轉車、自動車等ノ「タイヤ」
「チューブ」トカ、或ハ地下足袋
其ノ他ノ勞務者用品等ニ付キマシ
テ、之ガ使用ヲシテ參リマシタ、
五月ノ末ニ於キマシテハ當時三萬
二千「トン」程ゴザイマシタノガ
二萬二千「トン」バカリニナツテ
居ツタノデアリマス、其ノ次ニ先
程御話モゴザイマシタヤウナ意味
ヲ轉出スルヤウニト云フ指令ガ
參ツタノデアリマス、此ノ「萬」ト
ンニ付キマシテハ、相當質ノ良
イモノヲ要求致シテ參ツテ居リマ
シテ、只今ノ處、我々ノ方デ向フ
ノ要求スル質ニ應ズルモノヲザツ
ト撮キ集メテ見マシテモ、七千「ト
ン」位シカ向フノ要求ニ叶フヤウ
ナモノガ直グニハ集マラヌ、御承
知ノヤウニ生「ゴビ」等ニ付キマ
シテハ、軍等ニ於テモ特ニ終戦前
ノ緊迫シマシタ情勢ノ下ニ之ヲ各
方面ニ分散致シマシテ、而モ倉庫
等モゴザイマセヌ爲ニ、山ノ奥ト

カサウ言ツタ方ニ雨曝シニシテ迄
匿シテゴザイマシタ爲ニ、非常ニ
上側ガ腐ツテ居ルトカ、色々品質
上ノ變化ヲ來シテ居ルヤウナモノ
モゴザイマシテ、サウ云フヤウナ
事情カラ言ヒマシテモ、今直グニ
見附カルモノガ七千「トン」位シ
カナイ、併シドウシテモ聯合軍ノ
好意ニ依リマシテ、或程度ノ數量
ト云フモノハ、生「ゴム」ハムツ
カシイトシマシテモ、或ハ合成「ゴ
ム」トカ、或ハ屑「ゴム」ト云フ
ヤウナモノヲ輸入ラシテ貰ハナケ
レバナラナイノデゴザイマシテ、
ソレガ爲ニハドウシテモ向フカラ
命ゼラレマシタ一萬「トン」ノ生
「ゴム」ト云フモノハ、石ニ齧リ
著イテモ之ヲ輸出シナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フ見地カラ致シマシテ
ソレガ爲ニハ日本政府トシテ自發
的ニ業界ニ呼ビ掛ケテ、寧ロ業界
ノ總意ト云フヤウナ氣持カラシテ
一ツ御互ニニコ、一週間ナリ十日
ナリ事業ヲ止メテモ、現在ノ在庫
ト云フモノヲハツキリ確認シテ、
其ノ中カラ向フノ要求スルヤウナ
品質ノモノヲ出來ルダケ撮キ集メ
ル、其ノ上デ、ドウシテモ一萬「ト
ン」ニナラナケレバ、日本側トシ
テハ是ダケノ、誠意ヲ盡シテモ、
是ダケシカナイト云フコトヲ、能
ク向フニ話スルコトガ、今後ノ
聯合軍トノ關係カラ申シテモ最モ
男ラシイ行キ方デヤナイカ、斯ウ
云フヤウナ意味デ業界ノ方デモ十

分申合セラシマシテ、此ノ在庫ヲ
更ニ徹底的ニ調査スルコト云フ意
味カラ致シマシテ、先般「ラジオ」
デモ放送ガゴザイマシタヤウニ、
一週間ナリ十日間、操業ヲ一時停
止シテ貰フト云フヤウナ措置ヲ講
ジタノデゴザイマス

○子爵柳澤光治君 只今ノ御話デ

能ク分リマシタ、尙一點御伺ヒ致
シマス、此ノ隱匿物資ノ御調査ノ
目的ノ中ニモ、他ニ有效ナ方面ニ
轉用スルト云フコトガ大キナ目的
ノ一ツニナツテ居ルヤウニ存ジマ
スガ、工業原料ニ御轉用ノヤウナ
場合ニハ、品名、數量以外ニ、品
質ト云フコトガ非常ニ重要デア
ルト思ヒマスガ、同ジ物デモ、斯ウ
云フ品質ナラバ「エー」ナラバ向
フガ、「ビー」ニハ向カヌト云フヤ
ウナコトガ随分アルト思ヒマスガ
其ノ御調査ト同時ニ當局ノ方ニハ
サウ云フ品質ノ點デモ十分御分
リナルヤウナ御手配ニナツテ居
ルノデアリマセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 仰セ

ノ通り此ノ調査ニ際シマシテハ、
品質ナリ寸法ナリガ正確ニ分ラナ
ケレバ轉活用ガ出來ナイノデア
リマス、詳細ニ報告スルヤウニ致
シテハアリマスガ、調査員ヲ非常ニ
澤山使ツタ關係デサウ云フモノノ
取扱ニ慣レナイ人ガ澤山ゴザイマ
シテ、色々其ノ單位ガマチ／＼ニ
ナツタリ、寸法ノ書キ方ガ不十分
デアツタリ致シマシテ、非常ニ困

ツテ居リマス、集計ガ遅レテ居
マスノモ、一ツハ其ノ理由デゴザ
イマス、有ラエル種類ノモノヲ調
査致シマシタ譯デアリマスカラ、
色々ナ品種ノモノガアリ、澤山ノ
寸法ノモノガゴザイマス、「ゴム」
ナラ「ゴム」ニ致シマシテモ色々
ナ品種ガゴザイマシテ、用途ガ違
フト使ヘナイモノガゴザイマス、
從ヒマシテサウ云フモノハ統制團
體ニ委セマシテ、適當ナ方ニ向ケ
マスヤウニソレ／＼ノ品分ケヲ致
シテ居リマス、其ノ上デ配給ヲ致
スコトニ致シテ居リマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 皆様

ニ御諮リ致シマスガ、本日ハ此ノ
位ノ程度デ散會ヲ致シタイト思ヒ
マス、御異議ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ」
○委員長(子爵私元春朝君) 本日
ハ是ニテ散會致シマス、尙明後、
十七日氣曜日、午前十時カラ開會
致スコトニ致シマス、尙附加ヘテ
置キマスガ、若シ本會議デモゴザ
イマシタラ、或ハ午後ニ變改スル
カモ知レマセヌ、取敢ヘズ十七日
午前十時ト云フコトニ致シテ置キ
マス

午前十一時四十一分散會

出席者左ノ如シ
委員長 子爵秋元 春朝君
副委員長 男爵渡邊 修二君
委員 侯爵池田 宣政君
伯爵柳澤 保承君
子爵柳澤 光治君

子爵交野 政邁君
子爵稻垣 長賢君
男爵西 西乙君
男爵前島勘一郎君
男爵田中 龍夫君
中山 太一君
奥主 一郎君

國務大臣 星島 二郎君
商工大臣 小林 銈君
政府委員 吉田悌二郎君
商工事務官 松田 太郎君

昭和二十一年八月五日印刷

昭和二十一年八月六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局